授業科目　アスレティックトレーナー総合実習Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	スポ
柵木　聖也、永野　康治	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	90

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

アスレティックトレーナーに必要とされる知識と技術を、実際にスポーツ現場で展開し、より実践力のあるアスレティックトレーナーを目指す。

【学習目標・行動目標：SBO】

１．日体協公認アスレティックトレーナーまたは公認スポーツドクターが活動しているスポーツ現場へ参加し、そこで必要とされる様々なアスレティックトレーナーとしての技術と知識を自分のものとして定着させる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	本実習での具体的な学習内容は、下記のとおりである。		
2	（１）見学実習		
3	（２）検査・測定と評価実習		
4	（３）アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習		
5	（４）スポーツ現場実習（ストレッチング、テーピング、応急処置等）		
6	（５）アスレティックリハビリテーション実習（プログラム作成、実施等）		
7	（６）総合実習		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	公認アスレティックトレーナー　専門科目テキスト１～９	（財）日本体育協会	（財）日本体育協会	
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

レポート課題を課すとともに、現地視察および報告会を実施し、それらの結果を総合的に判断して評価する。

【履修上の留意点】

上記の内容を、日体協公認 AT または公認スポーツドクターのいる現場で学習する。日体協によって一日の最大学習時間は３時間、一週間の最大学習日数は５日間という形で上限が定められているため、履修には相当の期間が必要であることを念頭に置いて欲しい。